

都道府県への北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る

対応方針（原案）に係わる意見聴取について

道第 390 号
河第 387 号
港第 120 号
平成 27 年 9 月 8 日

国土交通省
北陸地方整備局長 殿

富山県知事 石 井 隆



北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

平成 27 年 8 月 5 日付け国北整企画第 32 号、国北整港計第 9 号で
照会のあったこのことについては、下記のとおりです。

記

意見

事業継続に同意する。なお、今後ともコスト縮減に努め、早期の
事業効果発現に格段の配慮を願いたい。

特に、黒部川総合水系環境整備事業については、総事業費の抑制
と治水安全度の向上に努めるとともに、黒部川における流水の正常
な機能の維持に必要な流量の確保の検討を引き続き進められたい。

事務担当

土木部道路課計画係
TEL076-444-3319

土木部河川課計画係
TEL076-444-3325

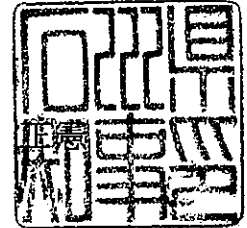
土木部港湾課建設係
TEL076-444-3337



道建第291号
平成27年 8月26日

北陸地方整備局長
藤山 秀章 様

石川県知事 谷本



北陸地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

平素は、本県に対しまして多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。
平成27年8月5日付け、国北整企画第32号および国北整港計第9号で
依頼のありました標記について、別紙のとおり回答いたします。

【道路事業】

事業名	県意見
国道8号 小松バイパス	国道8号は本県の大動脈であり、加賀地域の物流円滑化や観光産業の振興を図る上で、極めて重要な区間である。 今年3月の北陸新幹線金沢開業効果を加賀地域に波及させ、その効果を持続・発展させていくとともに、物流の円滑化による地域産業の活性化を図る観点からも、本区間の早期4車線整備が不可欠となっている。 小松バイパスについては、引き続き事業を継続するとともに、コスト縮減に努めつつ着実に整備を進め、平成34年の北陸新幹線金沢敦賀間の開業を見据え、早期完成を図っていただきたい。
国道159号 七尾バイパス	国道159号は、七尾市を起点として、中能登地域の主要都市を通過し、金沢市に至る幹線道路であり、このうち七尾バイパスは、能越自動車道と一体となって広域交流を拡大するとともに、中心市街地や物流拠点となる七尾港へのアクセス機能の向上を図る上でも重要な路線である。 今年2月にバイパス区間2.7kmが能越自動車道・七尾氷見道路と同時に供用し、能登地域の観光客の増加に大きく寄与しているところであるが、川原町から古府町間で新たな交通混雑が発生するなど、安全安心の確保に向けた早期の4車線整備が不可欠となっている。 七尾バイパスについては、引き続き事業を継続するとともに、コスト縮減に努めつつ着実に整備を進め、早期完成を図っていただきたい。